

企画提案書作成要領

企画提案書は、仕様書、および【別紙 1】CMS機能要件一覧表の内容をふまえ、記載事項に従って作成すること。専門知識がない審査委員が評価するため、できるだけ平易な表現で（専門用語を使用する際には、注釈をつけること）分かりやすく具体的に作成すること。

また、仕様書や以下に示していない内容でも、本町にとって有益になると思われるものについては、積極的に提案すること。

1.企画提案書などの記載上の留意事項

- (1) 企画提案書は「2. 企画提案書の構成」に基づく章立てとすること。
- (2) 様式は原則としてA4判横、上とじ、文書は横書きとする。また、A3版の挿入も可とする。ただし、A3版は1ページ換算とする。カラー、白黒印刷は問わない。
- (3) 企画提案書は70ページとし、表紙、裏表紙、目次をつけ、表紙、裏表紙、目次以外の各ページには一連のページ番号を記載すること。なお、表紙、裏表紙、目次はページ数に含まないものとする。
- (4) 提案内容はすべて実現可能なものとし、根拠も含め、できる限り具体的であること。
なお、業務委託契約後に提案内容が実現できなくなった場合は、提案内容以外の方法で実現することとし、その費用は提案者が負担すること。

2. 企画提案書の構成

1	構築実績	自治体公式サイト構築実績（CMS導入実績）を提示すること。 一般財団法人日本情報経済社会推進協会のISMS適合性評価制度の認定、またはプライバシーマークの認定を受けていることの有無
2	構築期間中のサポート体制	本業務を円滑に進めるための、サポート体制に対する考え方と方針について提示すること。
3	本業務に対する取り組み方針	現行サイトをもとに本業務に対する基本的な考え方、および取り組み方針について提示すること。
4	ユーザビリティの向上	ユーザビリティの向上に対する考え方について提示すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト ・閲覧者が情報を探しやすくするための方法 ・本町が知らせたい情報へ閲覧者を誘導するための具体的な実現方法

5	デザインと構成	トップページやスマートフォンページトップページ、他に必要と思われるデザインと構成、アピールポイントを提示すること。
6	システムの機能概要・機能要件の実現方法	(1) システムのパッケージの内容について提示すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・システムの概要 ・ページの作成・編集方法 (2) 町webアプリやSNSとの連携方法 (3) 他社にはない独自の機能があれば提示すること。
7	アクセシビリティの確保・向上	アクセシビリティに対する考え方や、本業務における具体的な実現方法について提示すること。また、「適合レベルAA」に準拠した実績も提示すること。
8	データ移行と各ページの問題改善	(1) 既存コンテンツの具体的な移行の手順・方法などについて提示すること。 (2) 単純なデータ移行ではなく、問題改善（品質向上）につながるようなデータ移行についての考え方や手法を提案すること。
9	職員研修	職員のシステムへの習熟に重点を置いた操作研修の体制及び実施方法について提示すること。
10	スケジュール案	ホームページ公開までの、最適なスケジュール案を提示すること。
11	サーバ、およびネットワーク構成	データセンターの特徴や、サーバ、およびネットワーク構成、セキュリティについて提示すること。
12	システムの管理運用、保守	(1) 定期保守 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運用、保守体制や支援内容について提示すること。 ・ 定例会・定例報告などについて提示すること。 ・ セキュリティパッチの適用などについて提示すること。 (2) 緊急保守（障害・災害対応） <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器、またはシステムに障害が発生した場合の連絡体制など、保守範囲について提示すること。 ・ 災害時の対応について提示すること。
13	加点項目	仕様書に記載の加点対象項目に該当する場合提示すること
14	追加提案	本町が要求している以外に、地域セールス向上につながる効果的な情報発信や職員の業務改善に繋がる機能・手法などがあれば自由に提示すること。